

福島の子ども・若者をコロナ禍から守る

申請団体一覧

一般財団法人ふくしま百年基金

No.	団体名	所在地	申請事業名	申請事業概要
1	特定非営利活動法人 NEXTしらかわ	白河市	白河未来研究室ナイトスクール	常設の「白河未来研究室」を夜間開放することで、コロナ禍における子どもたちの居場所提供・ICT教育機会の提供を行う。また、困窮世帯の子どもを対象にテーブルマナー講習やプログラミング学習会、子ども食堂や無料学習会を実施する。連絡手段に乏しい世帯にもポスティングで情報を届け、社協・民生員・行政・子ども会との連携強化を図る。
2	Life for Mothers	伊達市	まなびのひろば	伊達市の小学生を対象に地域学習サポートによる放課後学習支援・おやつ提供を実施。また、市内の小中学生の子どもがいる子育て世代に対しアンケート調査実施、課題実態を把握するとともに調査結果を他機関と共有し今後の感染拡大時の支援に備える。
3	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会	二本松市	ママ・キッズ・ファーム	コロナ禍で思うように働けなくなったシングルマザーを雇用し、農産物生産・販売・6次化商品開発を行うほか、子どもの面倒をみながら仕事ができるように休憩所等の整備をDIYで行う。また、子どものいる生活困窮世帯を対象に米・野菜・加工品などの食糧支援を毎月実施する。
4	特定非営利活動法人 りょうぜん里山がっこう	伊達市	子ども、親世代、地域の自活力養成講座	コロナ感染拡大の影響で地域社会・他者との断絶が加速してしまった。遊び体験や収穫・調理体験、授業で習わない歴史等を学ぶワークショップやシニア世代と子育て世代の交流など実施する。多世代交流を通じて、地域に多世代共生の新しいコミュニティをつくる。
5	特定非営利活動法人 青空保育たけの子	福島市	食生活改善でコロナに負けない身体を創る	植物性100%の食生活・レシピの普及を通して、新型コロナウイルスに負けない身体づくりを目指す。料理教室を開催するほか、孤食になりがちな家庭の子どもや一人暮らしの家庭に対して子ども食堂を開催する。
6	特定非営利活動法人 Lotus	会津若松市	親子の発散の場作りと子育て世帯を救う子育てネットワークの構築	コロナ禍に増幅した親・子どものストレス発散支援としてシングル世帯等に対し常設屋内遊び場を無料で開放する。また、障害福祉施設利用者等に対し特設日を設けるほか、屋外遊び場を新設する。地域の子育て弱者支援ネットワークを構築し、支援対象者へ継続支援が出来る体制をつくる。
7	特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ	郡山市	農業+お試しカフェによるひきこもり支援	ニート・引きこもりの方において、コロナの影響でこれまで以上に孤立・家族との確執が深まるケースが増えている。農業体験・カフェ研修を中長期的に行う事で社会との繋がりを維持、自信・自己肯定感の向上につなげる。また、家族会のほか地域の経営者等も含めた地域の方々を対象にセミナー等を開催し、当事者家族・地域が若者の置かれている現状への理解を深めると共に接し方を学ぶ場とする。
8	こおりやま子ども若者ネット	郡山市	コロナ禍における子ども若者の社会的包摂	コロナ禍で特に不登校やひきこもりなど困窮等の社会定期排除リスクが高い子ども若者の課題や支援ニーズが変化することが予想されるが、対人支援の性質上、コロナウイルスの影響で把握・共有しにくい状況にある。本事業では若者会議開催・フリースペースを通して子ども若者自身が課題等を発信できる場をつくるほか、車座会議・アンケート調査等を通じて各支援団体のナレッジ共有の仕組みをつくり、アドボカシーにも繋げていく。
9	非営利任意団体KAKECOMI	白河市	食と家と学びで防ぐ子どもと親の孤立	新型コロナウイルスの影響で経済基盤の脆弱な家庭の貧困・孤立が深刻化、DV・虐待リスクが増加している。既存の子ども食堂のほかアウトリーチ型子ども食堂事業を実施、食事配達を通して家計支援、孤立防止、虐待予防・早期発見に繋げる。また、アルバイト収入の無くなった高校・大学生を雇用し小中学生への無償学習支援を実施する。さらに民間シェルターでDV被害母子・10代女性の緊急入居対応を行う。
10	子どもが自然と遊ぶ楽校ネット	会津若松市	子どもの体験学習をすすめるプログラム	経済的困難な子どもほど塾等の学校以外の居場所が少ない。新型コロナウイルス感染を恐れ精神的ストレスが増す中、無料で遊べる場、人間関係修復の場が必要とされている。ネットワーク加盟団体と県内各地で外遊びプログラムを実施、学校と連携した事業も行う。公教育と連携した事業も行うことで、学校と連携した子どもの居場所づくり、学校外での子どもの参画したい場所づくりを行う。
11	特定非営利活動法人 相馬はらがま朝市クラブ	相馬市	Fukushima Experience Art Appreciation PROJECT 2020-2021	コロナウイルスによる長期休校などの影響は子どもたちへストレスを与えており、ゲーム・スマートフォンの使用時間も増えている。また、感染拡大の影響で東北でのダンスイベントは中止が続いている。本事業では県内各地でダンス芸術鑑賞、ダンスワークショップ、ダンス発表会を行い、ダンス芸術を通して運動の楽しさを伝えるとともに子どもたちの学習意欲向上にも繋げる。
12	一般社団法人 OJONCO	いわき市	能のふしぎ	新型コロナウイルス感染拡大により多くの制限が余儀なくされている。これまで実施してきた「いわきと都市を結ぶ文化交流事業」を持続していく為、高度な伝統文化である能の講演とワークショップをICTタブレット・オンラインを活用して実施する。また、中山間地域の子育て支援のほか、地域風土を生かした食文化の伝承等を行う。
13	学生団体Krei-Agri	玉川村	福島県内の障がい者をもつ子どもに安心を	感染対策のマスク着用により聴覚障がい者のコミュニケーションが阻害されている。本事業では福祉作業所と連携しフェイスガードを製作し、聴覚障がい者学校を優先的に、県内の特別支援学校の子どもたち、教職員に配布する。また、配布後はヒアリング等によりアフターフォローを実施する。
14	特定非営利活動法人 くるりんこ	喜多方市	ゆずりはプロジェクト	コロナウイルス感染拡大に起因する経済活動の抑制により、障がい者福祉施設では企業からの受託業務が減少している。本事業では非対面型事業として新にECサイトを通じたりユース商品を販売することによって施設利用者の非対面型の仕事を増やし、県内の障がい者の方々への就労機会増大と所得向上、モノ・心両面での自立を目指す。

15	特定非営利活動法人 あさがお	南相馬市	「はぐくみ・あさがお」交流事業	障害を抱えた一人ひとりが大人になった時にスムーズに社会生活を送るためには、子どもの頃より地域で応援してくれる人と繋がり孤立を防ぐことが必要。既存の就労継続支援B型事業と別途、児童発達支援・放課後等デイサービスに繋げる形で新規事業として子ども食堂事業を行う。社会的に困難を抱えた子どもや障がい者が広く地域住民と交流できる場を提供する。
16	特定非営利活動法人 ウィメンズスペースふくしま	郡山市	エールプロジェクト	コロナ禍でDV被害件数や10代の望まない妊娠の相談が増加し相談需要が高まっている。一方でコロナウイルス感染拡大の影響で学校・相談機関が縮小傾向にあり、被害が深刻化する恐れがある。本事業では既存の昼間対応の相談窓口と別途、夜間も対応可能なデートDV相談窓口を開設する。あわせて相談員研修やケース検討会、デートDV予防・啓発のための活動を行う。
17	ふくしま子ども食堂ネットワーク	郡山市	子ども食堂でのフード・パントリー事業	これまで子どもの居場所提供・困窮世帯の食事支援を行ってきた県内の子ども食堂が活動自粛を余儀なくされている。本事業では見守りを兼ねて生活困窮・孤立している家庭へ弁当宅配事業を行う。レシピ開発・宅配などでは県内の高校生ボランティアに参加してもらうほか、交流の場・居場所づくりとして、子どもたち・高校生・子ども食堂の交流イベントを開催する。
18	特定非営利活動法人 チームふくしま	福島市	福島県内の小学校へひまわりの種配布事業	コロナ禍に伴い学校での屋外活動が実施づらい状況となっており、これまで通りの授業ができない状況にある。本事業では県内の小学3年生を対象に、福島の復興を願い全国から届いたヒマワリを育ててもらう。理科の授業の枠を超え道徳教育。総合学習に繋げ、福島の課題や原発事故に向き合う力を身に着けるきっかけに繋げる。
19	特定非営利活動法人 エフ・スポーツ	福島市	次世代へスポーツを通じて想いをつなぐ事業	新型コロナウイルスによりスポーツをできる場の減少・大会の中止により学生たちは不完全燃焼になっているほか、経済的にも困窮している。本事業では経済的に困窮している学生を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、トップアスリートによるスポーツ教室開催、民間企業や行政が所有する施設等の発掘と学生の提案による施設再利用事業を行う。